

潮が

六地藏



四王子宮



五足の靴



洲崎神社

10月26日
長洲町歴史探訪
健康ウォーキング

運動しながら歴史を学ぶ

平成26年9月定例会

平成25年度 一般会計決算を認定 ②

一般質問 10人が登壇し町政を問う ⑧

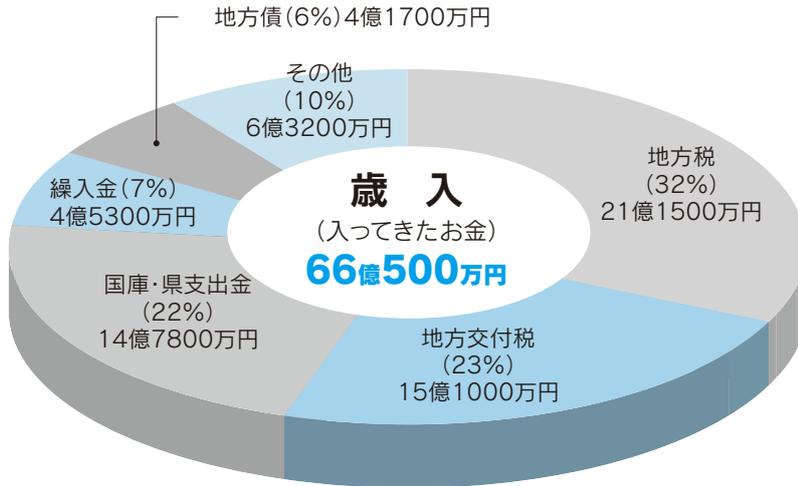
追跡レポート あん質問はどがんかった ⑱

平成25年度一般会計決算

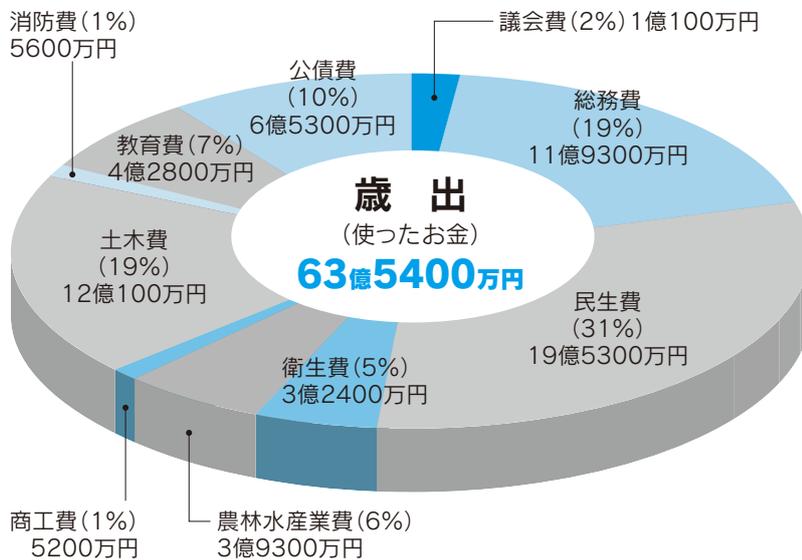
決算を認定 賛成10:反対3

わたしたちの税金は
 どう活用されたか
 財政健全化指数も好転

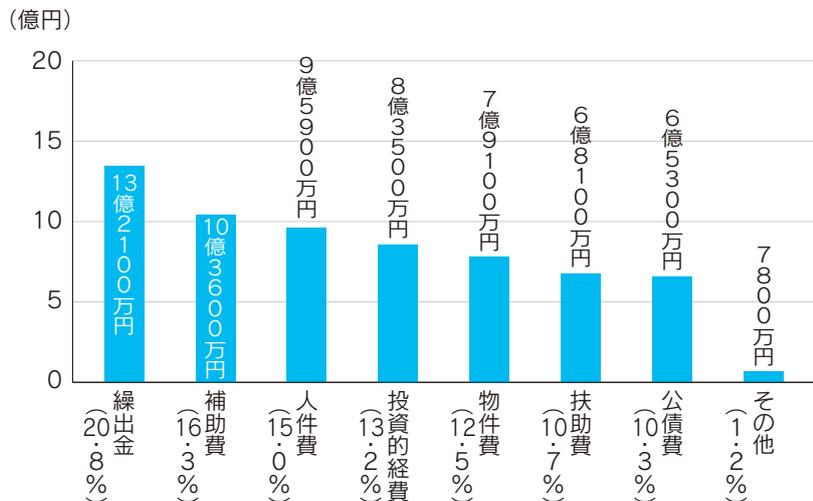
歳入の内訳



歳出の内訳



歳出の性質別内訳



- 繰出金…国民健康保険、介護保険、公共下水道など特別会計へ出すお金
- 補助費…有明広域行政事務組合負担金、港湾負担金等

決算の認定は行財政効果の客観的判断と反省事項を把握し、今後に活かすことが大事だ。行財政運営においては町民一丸となつて危機意識をもち、財政健全という大きな目標に向かって更なる努力が必要。

総務・財政

- 電算化推進事業 4652万円
- 戸籍電算化事業 978万円
- きんぎょタクシーの運営等 1234万円



問 (大森議員)
電算機リース料は全て一括リースか。

答 (総務課長)
一括だ。

問 (市原議員)
自主防災組織率は何か。

答 (総務課長)
33行政区で90%の組織率である。

民生・子育て

- 保育所事業 3億9962万円
- 児童手当給付事業 2億5859万円
- 子ども医療費助成事業 5528万円
- 高齢者支援補助事業 932万円

問 (大森議員)
生活支援サポーターのフォローアップは。

答 (福祉保健介護課長)
今後講座を企画する。

問 (荒木議員)
予防接種の予算が下回ったのはなぜか。

答 (福祉保健介護課長)
子宮頸がんに関して接種被害があり、積極的な勧奨を差し控えたため。



衛生・福祉

- 障がい者福祉サービス給付等事業 2億3859万円
- ゴミ減量化事業 4557万円
- し尿収集運搬事業 3895万円

問 (樋口議員)
福祉介護分野の人材確保事業で雇用が創出されたのか。

答 (福祉保健介護課長)
委託した6事業所で8名の雇用ができた。

問 (磯野議員)
生ゴミ処理機の補助により減量・再資源化につながったか。

答 (住民環境課長)
年間6.9トンの減、5年間で76万5千円となり処理機補助額37万9千円より効果があった。



産業・建設

- 道路維持補修事業 2億567万円
- 農業農村整備事業 1億9980万円
- プレミアム商品券発行事業 499万円
- 港湾改修事業 3590万円



問 (徳永議員)
暗渠排水が未整備の水田対策はどうするか。

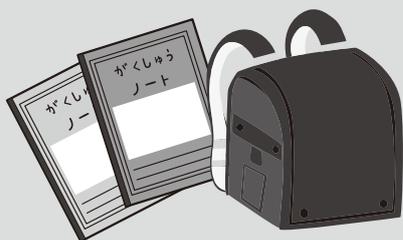
答 (農林水産課長)
国に採択要望を行うか独自の補助事業を紹介していく。

教育・文化

- 就学援助事業 986万円
- 学校教育推進員の配置事業 699万円
- 校区公民館事業 35万円
- スポーツ推進委員事業 124万円

問 (福永議員)
報償費の消化が少ないのはなぜか。

答 (学校教育課長)
講師謝礼のからまないよう工夫した講演会を企画したため。

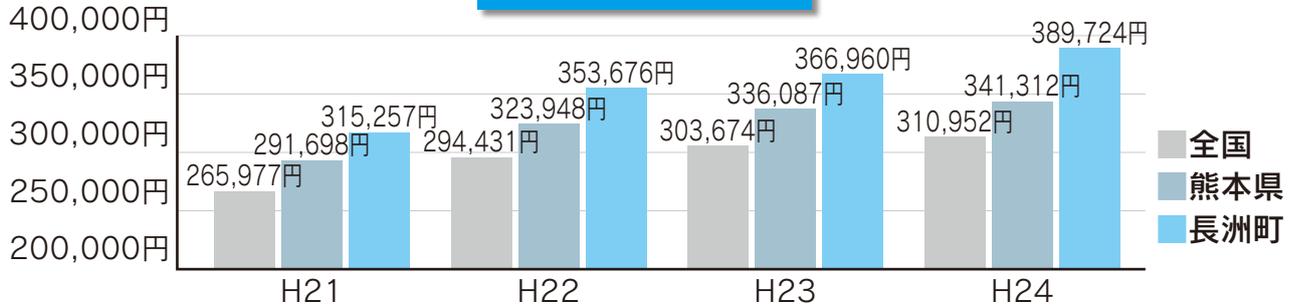


国民健康保険特別会計

1557万円の赤字

— 歳出が過去最高額21億1400万円 —

一人あたりの医療費



一人あたりの医療費の主な内訳と比較(平成24年度)

	全国平均	熊本県平均	長洲町	全国平均との比較	熊本県平均との比較	県内順位
入院	113,813円	138,807円	156,183円	42,370円	17,376円	11/45
入院外	111,926円	121,379円	142,539円	30,613円	21,160円	5/45
歯科	23,403円	20,351円	22,530円	△873円	2,179円	9/45
調剤	54,570円	49,832円	57,562円	2,992円	7,730円	6/45

長洲町の医療費が全国平均ならば $4,436人 \times 78,772円 \div 3億4,943万円$ の減額

長洲町の医療費が熊本県平均ならば $4,436人 \times 48,412円 \div 2億1,476万円$ の減額

(平成25年度版 財政の推移と現状)

国民健康保険

厳しさを増す国保会計
に質疑集中

【主な質疑】

(大森議員)

国保財政赤字を税率アップで解消せず、適正化計画をつくり町全体で取り組むべきでは。

(町長)

担当課だけではなく町職員一体となつて対応し、介護予防拠点での啓発活動を推進していきたい。

(荒木議員)

出産一時金とあるが、現在何人の子供が生まれているのか。

(福祉保健介護課長)

平成25年度の出産育児一時金は13件546万円(1件当たり42万円)の支給実績となっている。

(磯野議員)

不納欠損が1123万で収入未済額が1億478万となっている

るが、これは回収できない国保税か。

(税務課長)

25年度は55件の差し押さえを行い、充当額は184万円程となった。

(市原議員)

平成20年度までは町の特定健診も40%を超えていた。その後、健診場所が一カ所になつてから受診率が、30%台に落ち込んだのではないか。

(福祉保健介護課長)

特定健診はガン検診と併せて行う方が受診率が上がると考え取り組んだ。今年度は追加健診を2回計画するなど、さらに啓発活動を推進し、受診率向上を目指したい。

(福永議員)

国保予算の見込みが甘かったのでは。赤字が発生した原因は何か。

(福祉保健介護課長)

一人当たりの医療費を抑制することができず、共同事業交付金

について予算見積額より2700万円程割り込んだことで赤字となった。

(濱崎議員)

レセプトの費用対効果は。また滞納収納対策は早めにすべきだ。

(福祉保健介護課長)

二次審査の結果130万余りの効果がでていいる。今後もレセプト点検の精度が上がるよう努めたい。

(税務課長)

早め早めの滞納収納対策に努め、財産調査等を早急に進めたい。

賛成10 反対3 可決

介護保険

介護保険料の未納が増加。対策が必要

【主な質疑】

(大森議員)

25年度の収支で6817万円の黒字となっているが適正か。

平成25年度 特別会計決算を認定

名称	歳入	歳出	翌年度への繰越すべき財源	実質収支	単年度収支
国民健康保険	20億9891万円	21億1448万円	—	△1557万円	△5586万円
介護保険	17億0064万円	16億3247万円	—	6817万円	961万円
後期高齢者	1億9172万円	1億8973万円	—	199万円	196万円
公共下水道	11億8842万円	13億4827万円	500万円	△1億6485万円	2億1643万円
浄化槽施設	1103万円	1001万円	—	102万円	13万円

答 (福祉保健介護課長)
国、県からの給付の負担金や一般会計からの繰入金等を精算する必要がありますが、実質的には4393万円と24年度より下まわっている。

問 (磯野議員)
保険料の不納欠損額が174万円、収入未済額が382万円となっている。この数字を見てどう思うか。

答 (福祉保健介護課長)
納付される方が、1号保険者は65歳以上なので、収入面でも厳しい状況と思われるが、介護保険への理解を深めていただき納付してもらえよう努めていきたい。

問 (福永議員)
後に介護認定を受けて、介護サービスを利用して、介護サービスに利用する時に、それまでの保険料の納付状況が重要な事を十分説明するとともに、納めるためにどうしたらいいのかなど、生活面にフ

アイナンシャルプラン

ナーを同行し話し合うような方策をとるべきではないか。

答 (町長)
滞納整理ばかりするのではなく、ファイナンシャルプランナーをつけるなどして、相談体制の充実に努めた

賛成12 反対1 可決



後期高齢者医療

賛成12 反対1 可決

浄化槽施設整備事業

賛成12 反対1 可決

公共下水道

〔主な質疑〕

問 (大森議員)
赤字を出さないためには、歳入の増を図り収益を確保することが大切だ。町内の進出企業に下水道をつないでもらうことは考えられないのか。

答 (下水道課長)
今後、企業を取り込むとなると相当の費用が町にも、企業にも発生すると考えられ厳しいと判断する。

問 (福永議員)
一般家庭が支払う1mあたりの使用料はいくらか。また処理原価はいくらか。

答 (下水道課長)
使用料は173円、処理原価は297円になる。

問 (福永議員)
使用料単価より汚水の処理原価の方が高くて、どうやって運営ができるのか。

答 (下水道課長)
汚水処理原価に

は、玉名市からの汚水処理費も含んでおり、長洲町分だけならもつと安くなる。単価は後日示したい。

賛成11 反対2 可決

水道事業

〔主な質疑〕

問 (福永議員)
供給単価から給水原価を差し引いたものが、利益だが、昨年1mあたり10・5円あったのが、4・5円にまで減少しているがなぜか。

答 (水道課長)
高田浄水場の12号井戸を廃止したときに、繰延勘定償却にまわした分が、25年度から発生したため、この後4年間はそのまま推移していくと予想する。支出の削減には、今後も努力していく。

全員賛成 可決

平成26年度 補正予算

一般会計へ 6518万円を追加

総額64億8304万円

魅力ある金魚と鯉の郷広場へ期待

〔一般会計補正予算〕

〔主な質疑〕

〔福本議員〕

問 金魚と鯉の郷広場のトイレを使いやすくするデザインコンペは。

答

（まちづくり課長）
改修に当たり設計コンペも考えている。段差の解消、授乳関係、当然明るく子ども専用のトイレ等も検討していきたいと思っている。



使いやすい明るいトイレに

問

（濱崎議員）

肺炎球菌の予防は65歳から全部対象にするのか。

答

（福祉保健介護課長）
接種の対象は65歳以上と、60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の疾病のある方は対象になり、負担額が定期接種の方とそれ以外の方で異なってくる。

問

（濱崎議員）

長洲港の周辺街路灯の設置は、道路完備の後でないかと、交通事故のもとになるのでは。

答

（まちづくり課長）
街灯をつけることについては、安全対策は十分とりたいと思っている。

全員賛成 可決

問

（福本議員）

データヘルスアップ事業で、どの病気を予防したいと考えるのか。

答

（福祉保健介護課長）
この事業については生活習慣病、人工透析も視野に入れ、効率的な保健指導が行われるよう考えている。

全員賛成 可決

後期高齢者医療

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ135万円を追加し歳入歳出1億8915万円とする。

〔主な内容〕

決算による繰越金の追加、一般会計繰入金金の精算によるもの。

全員賛成 可決

浄化槽施設整備事業

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ101万円を追加し、歳入歳出1601万円とする。

〔主な内容〕

平成25年度決算で余剰金が発生したため、26年度繰越金として一般会計に繰り出すもの。

全員賛成 可決

〔特別会計補正予算〕

国民健康保険

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ200万円を追加し歳入歳出21億8772万円とする。

〔主な内容〕

特定健診受診率向上と健康増進を図るため。

〔主な質疑〕

（福永議員）

問 データヘルスアップ事業の200万円は何をどうするのか。

全員賛成 可決

〔主な内容〕

介護保険の決算に伴う一般会計からの繰入金金の精算と、予備費として。

全員賛成 可決

条例の改正

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する

条例

【提案理由】

児童福祉法の改正に伴い、この条例を制定する必要がある。

【主な質疑】

問 (福本議員)

保育ママ、ベビーシッターは何にあてはまるか。

答 (子育て支援課長)

保育ママがこの家庭的保育事業になり、ベビーシッターに近いものが居宅訪問型保育事業になる。

問 (大森議員)

子どもが保育を受ける権利は、最優先に国と自治体の責任で行うということは担保されるのか。

答

(子育て支援課長) 子どもの最善の幸福のための努力と市町

村の責務もきちんと果たしていく。

【提案理由】

問 (福永議員)

暴力団関係者を警察に照会して、どのくらいまで把握できるのか。

答

(総務課長) 警察のデータベースをもとに判断する。賛成12 反対1 可決

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例

【提案理由】

子ども・子育て支援法の制定に伴い、この条例を制定する必要がある。

【主な質疑】

問 (福永議員)

条例はわかりやすく作るべきだ。修正しはどうか。

答

(総務課長) 例規上のルールで

つくっている。何ら問題はない。

賛成10 反対3 可決

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例

【提案理由】

問 (大森議員)

この条例を制定する必要がある。

【主な質疑】

問 (大森議員)

指定管理者制度の導入を考えているのか。

答 (子育て支援課長)

指定管理、委託、公立、これらを総合的に含めて、検討中だ。賛成11 反対2 可決

○町営住宅条例の改正

【提案理由】

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援及び町営住宅前浜団地の用途廃止に伴い、この条例を改正する。

賛成 全員賛成 可決

○工場等振興奨励条例の改正

【提案理由】

道路交通網の整備や定住促進による優秀な人材確保も企業が進出する条件となっており交付限度額を見直す必要がある。

【主な質疑】

問 (磯野議員)

なぜこの時期にこの議案を提案されたのか。

答

(まちづくり課長) アベノミクスでいろいろな成長戦略等、国のほうで取り組みがあり、いろいろな法人税の見直し等ある。今後、税収の確保も不明確な部分があり提案した。

【主な質疑】

問 (宮本議員)

町の計画から相反するのではないか。

答 (まちづくり課長)

新たな企業誘致も必要だが、既存の事業者に対しての支援も必要と考えている。優遇策も当然必要であり、その方面の予算配分も

今後考えていきたい。

賛成 全員賛成 可決

○浄化センターの改築工事委託の締結

【内容】

- ・契約金額 5億3392万円
- ・契約方法 随意契約
- ・契約相手 日本下水道事業団 (東京都)

【主な質疑】

問 (福永議員)

どのような法人格を持った団体か。

答 (下水道課長)

地方公共法人という位置づけで、人口8万人以上の地方公共団体が出資している。長洲町は出資していない。

【主な質疑】

問 (濱崎議員)

2800万の委託費がかかっているが職員に資格者がいれば削減できたのではないか。

答 (町長)

技術職の職員はどの自治体でも不足している。技術職の採用も重要で、委託がいいか、

人事

あるいは直接がいいかは検討していく。

賛成12 反対1 可決

○農業委員会委員の推薦



松野 智子 (清源寺)

賛成 全員賛成 推薦



増岡美知子 (向野)



荒木睦子議員

地元商店活性化対策を図るには

答地域・商工会・まちづくり推進事業とお互いに連携を

町政を問う

問 活力ある商業の再生支援の取り組みとして第5次長洲町総合振興計画に掲げているが、人口の減少、少子高齢化の進展に伴い、後継者不足等でシッターの閉まった店舗が目立ち、活性化に至っていない現状について町の考えは。

答 (町長) 町内の空き店舗にも、11月に新たな店舗がオープン予定であり、また、商工業者の支援策として、毎月第4日曜日の軽トラ市、商工会が行っているプレミアム商品券発行事業など地元消費拡大等活性化につなげている。



活気ある町に

問 空き店舗の誘致を進めているとのことだが、店舗の中に地元生産者の直売所を考へてはどうか。

答 (まちづくり課長) まちづくり課長) 経営、運営される商店の意向等もあり、協議する必要がある。

教育環境の現状と今後の対策は地域の教育や課題やあるべき姿を共有し、教育行政の推進を

問 義務教育の中核を担ってきた教育委員会は大きく変わろうとしている。現行の教育委員会制度を抜本的に改革するなど、このような改革をどのように捉えているか。

答 (教育委員長) 委員長と教育長を一本化した新教育長を置くことにより、危機管理体制の構築を図り、教育行政の第一義

問 学校生活で、いじめ、不登校児童生徒の実態はどうなっているか。

答 (教育長) アンケート調査や、面談を行いながら解消に向かっている。

問 土曜授業の導入について、どのような実施されるのか。

答 (教育長) 2回実施、中学校は計画できていない。

問 部活動の現状と対策は、どうなるのか。

答 (教育長) 社会体育のほうへ移行していく。



より良い環境で教育を



レセプト点検中



磯野 博議員

繰上充用された国保会計の経営状態は

答 厳しい運営状況であり、医療費抑制を推進する

問 臨時議会で平成25年度歳入不足を補うため繰上充用が行われた。平成26年度半年が経過して、経営状態はどうか。現状を見込み、今後の取り組みは。

答 (町長) 7月診療分まで支

払っており、支払い額で検証すると、昨年と比較、ほぼ横ばいとなり、想定内の給付である。繰上充用、交付金等歳入の不透明な部分を考慮すると、厳しい運営状況だ。現在、基金もなく、早急な手立てが必要と考えている。

自信を持って議会に説明する覚悟を

危機感を持って対応する

答 (福祉保健介護課長) 今後の取り組み課題として、将来の医療費の適正化、特定健診等の保健事業の推進が挙げられる。国の計画

のデータヘルス計画に基づくヘルスアップ事業を行うことで、データを使って効果的な医療費の抑制につなげていく。

問 仮に平成26年度も赤字になるということであれば、どのような手立てがあるか。

答 (総務課長)

解決の方策は歳入を増やす。いわゆる税率の見直し。最終的には一般会計からの繰り出しも考えなければならぬ。今年度だけでなく複数年で健全化に向けた財政計画を出していきたい。

問 国保税の値上げ、一般会計からの法定外繰り入れを判断する最終的なリミットは。

答 (福祉保健介護課長)

来年3月に条例等の改正を考えると、今年の12月には方向性を決めないといけない。国保会計の状況は、大変大きな問題である。真剣に危機感を持って緊急事態と

ジェネリック医薬品の品質確保等について

- 後発医薬品の承認審査に当たっては、品質、有効性、安全性を厳正に審査。
 - 品質の審査
(製剤の品質：有効成分の含有量、溶出性、不純物濃度等を比較、確認)
 - 有効性・安全性の審査
(生物学的同等性：例えばヒトでの血中濃度を比較し、同等性を確認)
- 承認後の製造段階においても、先発医薬品と後発医薬品に同じ品質管理に係る基準（GMP）を適用。定期的に都道府県が査察を実施。

先発医薬品とジェネリック医薬品との間で、品質、有効性及び安全性に差異なし

医療費抑制を(厚生労働省HPより抜粋)

答 (町長) 長洲町一体となり国保会計の黒字化を目指す。長洲型の元気づくり事業にも取り組んでいく。危機感を持って対応していく。

いう認識のもとに取り組んでいただきたい。

指す。長洲型の元気づくり事業にも取り組んでいく。危機感を持って対応していく。



宮本哲太郎議員

町民はおいしい水を求めている

答 水道水は法で塩素消毒が決められている

問 町民はおいしい水を求めて各水源へくみに行かれています。一町の水道水は消毒(塩素)の臭いがしておいしくない」といわれた。水道水は地下水を使用しているので消毒の必要はないと思うが。

答 (町長) 上水道に供給される水は常に安全かつ正

常なものでなければならぬ。水道法第22条で衛生上の措置として水道施設の管理及び運営に関し、消毒、その他衛生上必要な措置を講じなければならないとある。そのため給水栓における水が残留塩素が0.1mg以上保持するよう塩素消毒をしている。町は住民へ供給し

ている水の水質検査も3カ所で実施している。国の基準の水質基準51項目も定期的に検査をし全てクリアしている。町は町民の皆さんへ安全な水道水を供給するため浄水施設や水質管理等の確保に努めている。

問 消毒剤は塩素のみか。法で決められているのか。

答 (水道課長) 塩素のみで衛生上必要な措置として第7条第1項に塩素消毒の条文がある。

問 塩素の含有量はどのようにして計っているか。

答 (水道課長) 機械で計っている。

問 おいしい水について研究されたことはあるのか。

答 (水道課長) 水道法にのっとりた水道の水質基準を守るのが水道事業である。安心安全な水のため水質だけは重点的に管理しているが、おいしい水づくりの研究はしていない。

問 おいしい水を求めるには今は精巧な浄水器が必要と思う。下水道の赤字も解消することだし浄水器購入の補助金支給は考えられないか。

答 (町長) 厳しい財政の中であり、おいしい水づくりは各家庭で工夫してほしい。

消防団の再編を考える時期

分団長会議の中で協議する

問 消防団員減と高齢化により再編は考えないか。

分団数、定員数は地域のことを勘案し消防団と検討する。

答 (町長) 団員の平均年齢は36.4歳である。再編については世帯数の減少、若者の流失等による団員確保の観点から幹部団員と分団長で協議を行ったが地域の事情等もあり再編は困難、防災・消防力を維持するにも団員確保が必要。



よりおいしい水の供給を



どうする？町の消防団



安心して暮らせる まちの実現を



市原一広議員

認知症高齢者や介護者（家族）への支援の充実を

答 支援が的確かつ早期に行える体制の構築を目指す

問 厚生労働省の研究
班が昨年発表した
65歳以上の認知症の方
の数は462万人。さ
らに、既に兆候が見ら
れる軽度の認知障がい
者の人の数も含めると、
なんと862万人とい
う数になり、高齢者の
4人に1人が認知症に

直面している計算にな
る。このまま推移すれ
ば一体どうなるのだろ
うと危惧する。認知症
になっても、住み慣れ
た地域で暮らすにはど
うしたらいいのか。町
でも年々増加が予想さ
れる認知症高齢者に対
し、また介護する方（家

族）に対しても支援・相
談窓口の充実が必要と
考えるが。

答（町長）
本町では、町内25

カ所の介護予防拠点に
おいて、脳トレ教室や
健康体操、講話などを
実施し認知症予防に取
り組んでいる。また支
援については、地域包
括支援センターに認知
症地域支援員を2名配
置し、相談や専門の医
療機関への早期受診の
手配など、状態に応じ
た支援を行っている。
今後も介護予防活動の
幅広い実施と認知症の
方及び家族への支援が
的確にかつ早期に行え
る体制の構築を目指し
ていきたい。

問 役場の担当課に相
談に来られた方々

が、そこで詳しく、分
かりやすい説明を受け
て帰れるように、認知
症に対する知識や町の
支援の内容、介護保険
制度に精通した職員を
育てることも重要だ。

答（町長）
医療、介

護、予防、住
まい、生活支
援が一体に
提供できる
地域包括シ
ステムの構
築を目指す
とともに、職
員も十分ス
キルアップ
を図り、認知
症の方やご
家族に対す
る支援に取
り組みたい。



のしこら祭りを支える町内の若者たち

「のしこら祭り」への補助金の復活を！

実行委員会と協議し、 支援を行っていききたい

問 ふるさと長洲を思
う若者達が企画・

運営する「のしこら祭
り」。その財源の一部
であった町からの補助
金が打ち切られて、間
もなく10年になる。補
助金を復活し、やりが
いのある祭りにしてほ
しい。

答（町長）
「のしこら祭り」

は町民の親睦と融和を
図る重要なイベントと
考えている。また約半
年前から祭り開催に向
け取り組まれている実
行委員会メンバーには、
大変感謝している。今
後も協議し財源的にも
支援していきたい。



浜村芳光議員

町道前田線の道路拡幅を

答 幹線道路である折地向野線の整備を優先したい

問 町道前田線の道路の現状を見て、どう認識しているのか。

答 (建設課長)
折地向野線の消防格納庫横から入りしぱらくは、おおむね幅員3mから4mだが、その先は2m未満と狭く

なっており、よくない状況と認識しているが、同じ地区内についてもまだ狭いところがあるが、あり、町としては、まずは幹線道路である折地向野線のほうを優先して整備していきたい。

古城公園前の憩いの家跡地利用は

現状では、明確な跡地利用の計画はない

問 これまでの経緯について説明を。

答 (町長)
老人憩いの家については、シロアリや幾度かの台風被害により老朽化し、平成7年度に解体した。その後、平成13年に地元区から、憩いの家の再検討について要望書が提出され、協議した結果、平成17年に建設の予定となったが、国の三位

一体改革や、下水道会計への多額の繰り出し金などの影響で、財政状況が厳しくなり断念。地元区と再度協議した結果、憩いの家再建にかえて、町道東の辻吉野浦線の道路改良の早期実現に対する要望書が提出され、憩いの家再建計画については、その時点で終了している。

門の設置を。③漁港内にヘドロが堆積している。対策を。

答 (町長)
①新川漁港は名石浜工業団地造成に伴い、腹赤地区の漁業権放棄により、昭和49年12月に管理者を長洲町から旧岱明町に変更している。よって沈没船の撤去は、管理者である玉名市へ要望していきたい。②費用面や今後の管理が困難であるなどの理由により、現在のかさ上げ工事での対応を管理者である玉名市と協議し決定した。③

漁港内のヘドロの堆積が、現在の避難港の機能として支障が出れば、玉名市において対策が講じられると考える。



早期の拡幅を

新川漁港の環境整備を

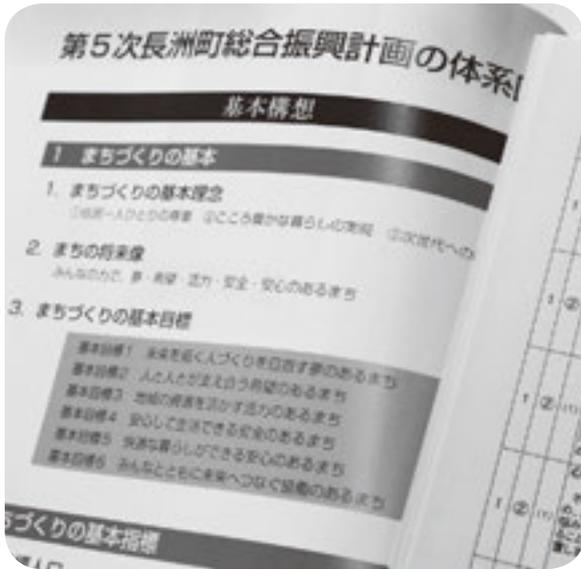
管理者である、玉名市へ要望していきたい

問 次の3点について伺う。①漁港の沈

没船の撤去を。②震災時の防災対策として水



誰がやる？廃船撤去



誰もが理解できるように



福永栄助議員

計画行政（行政経営）における基本構想と基本計画の関係は

答 基本構想は町の将来像、まちづくりの指針となるもの、基本計画は

まちづくりの基本目標をさらに具体化して主な取り組みを示したもの

問 総合振興計画がよく理解されていないのでは、お互いに理解できるように言葉の使い方を定義すべきだ。そこで、計画行政（行政経営）にお

ける基本構想と基本計画の関係は。

答 （町長） 基本構想は町の将来像、まちづくりの指針となるもの、基本計画は将来像を達成する

ための施策として、まちづくりの基本目標をさらに具体化し、その中で現況と課題を述べ、主な取り組みを示したものだ。

問 基本構想が町の将来像「みんなの力で夢、希望、活力、安全、安心のあるまち」でこれが目標。目標（目的）を達成するために政策（大きな課題）をたて、政策実現のため施策（具体的な課題）をつくり、施策実現のため、解決手段として、事務事業を実施する。つまり目標、基本構想、町の将来像を実現するための政策が解決手段、そして、政策が目的になり施策が解決手段、

次に施策を実現解決するのが事務事業。すべてが目的と解決手段という関係でいいのか。

答 （まちづくり課長） 大きな課題として政策がある。その下に施策を位置づけて、さ

らにその下に事務事業を実施して、体系的に位置づけているという考えだ。

総合計画の進行管理は行っているのか

事務事業評価を実施し、成果や事業の改善策等を協議し、進行管理を行っているのか

問 前期基本計画（5年間）がスタートして、3年が過ぎた。2年後（27年度）には成果指標も書かれているが、課題は少しずつでも解決しているのか、事務事業の成果がわかりにくい。どのような本計画の進行管理を行っているのか。

答 （まちづくり課長） 事業ごとに事務事業評価を実施し、成果や事業の改善策等を協議している。7月には事務事業評価の1次、2次評価を実施し、さらに担当係長と今年度の事業実施状況や来年度に向けた事業のあり方を検討するサマリーレ

ビューを実施し、事業の進行管理を行っている。

誰もが理解できるように

誰もが理解できるように

誰もが理解できるように

誰もが理解できるように



濱崎 久議員

家宅捜索について

答 企業もコンプライアンスを守る意思をもってもらいたい

問 不二ライトメタル(株)が摘発されて家宅捜索を受けたのは、何らかの問題があったから、狙い撃ちされたのか。

(町長)

答 新聞報道によれば水素イオン濃度が、法定基準値を、大幅に上回る、強アルカリ性や弱酸性を示す汚水を、

東京湾に排出した、水質汚濁防止法違反の疑いで、千葉県不二サッシ(株)と、不二ライトメタル(株)が、家宅捜索を受けたと記載してあった。

(住民環境課長)

報道以外はわからない。千葉県の工場は、不二ライトメタル(株)が、インゴットから型押し

し、表面処理を行い、製品のもととなる資材を作り、その資材を曲げ、切断などの加工を行い製品化する不二サッシ(株)となっている。

問 不二サッシ(株)として、長洲町に進出以来、公害に関することはなかったか。

(町長)

不二ライトメタル(株)の前身、九州不二サッシ(株)が、油漏れで、港湾内に流したことがある。

答 (住民環境課長) 平成18年に公害問

題として、ダイオキシンが発生している。

問 今まで、油漏れや、公害があつているのなら、今後どう取り組むのか。町が行っている通常検査は大丈夫か。漁業振興、環境整備の面から、町がとるべき行政の姿勢を伺う。

(町長)

我々は環境を守る義務がある。工場排水の水質検査を継続的に実施するとともに、工場排水処理槽の管理状況も確認したいと考えている。

答 (建設課長)

対応が遅れて申し訳ないと思つている。この他、教育基本方針について、初めて教



不二ライトメタル(株)東日本事業部 (千葉県市原市)

街路樹の管理について

対応が遅れて申し訳ない

問 下東町中央線に、大型車が突っ込んで、

だのは、街路樹の管理が悪く、道路標識が見



街路樹の適正管理を

えなかったのが原因だ。これだけ指摘しているのに、職務怠慢だ。

答 (建設課長)

育委員長が出席し、答弁された。その他、4m道路の件、障がいのある人や老人の長洲駅利用の件、町道横塘線の件、港湾堤防決壊の件など13件通告した。

くまもと 携帯電話・スマートフォンの
利用5カ条

- 第1条** (守ろう!私たちの健全な暮らし)
約束しよう!夜10時から朝6時は使わない
- 第2条** (守ろう!私たちの安全・安心)
設定しよう!フィルタリングは当たり前
- 第3条** (守ろう!私たちの人権)
尊重しよう!画面の向こうの相手のこと
- 第4条** (守ろう!私たちのプライバシー)
判断しよう!知らせていいこと悪いこと
- 第5条** (私たちの1カ条)
第5条は各家庭でつくろう



福本みや子議員

小中学生の携帯端末利用実態は
答 使用時間が長くて、成績が低い傾向にある

問 携帯電話やスマートフォンを持ち、インターネット利用の小中学生の実態は。

答 (教育委員長)
小学生292名、36・5%、中学生251名、63・4%が所持、小学生1名、中学生

22名がネット上で知り合い「直接会った」というアンケートの答えに大変驚いている。早速、委員会、教職員、PTA、生徒会で協議し、使い方のルールづくりを検討したい。

問 ネット社会と学力の関係はどうか。

答 (教育委員長)
使用時間が長いほど成績が低い傾向にあり、小中学校とも県全体を大きく上回っている。各家庭で取決めをしてほしい。

問 ネット社会と学力の関係はどうか。

答 (教育長)
学力・学習状況調査結果はHPに町平均点を公表した。学校差

はある。個々には個人表で対応していく。

問 中学校は全国、県平均点を下回っている現状だが、学力向上、教育環境の為にどのような積極的な施策をすべきではないか。

答 (教育長)
コミュニティスクール、学校運営協議会を充実させ支援を願う。

問 高齢者世帯の緊急非常時の対応を広く周知すべきでは。

答 (福祉保健介護課長)
ボタン一つで有明広域消防本部へつながる装置、救急者や包括支援センターにつながる携帯電話を活用した「見守り・生活支援システム」の普及を図り拠点で紹介していく。

問 新聞配達や宅配業など生活に密着し優しく見守ってもらう協力体制をつくる協定を結ぶのはどうか。

答 (福祉保健介護課長)
各区でそれぞれの形で見守りがある。今後、関係機関と協議しながら検討していく。

高齢者の見守りの取り組みの実態は
介護活動の中で見守り、独自の仕組みづくりを模索中

問 定住自立圏形成協定を結んでいる大牟田市との交流は。

答 (福祉保健介護課長)
先駆的活動をして

いる「はやめ南人情ネットワーク」に於いて徘徊等が出た場合の対応、ネットワークの課題などを研修している。



みんなで見守る体制を



大森秀久議員

終戦から70年、平和の記念事業を

答趣旨を生かした戦没者追悼式を検討

町政を問う

問 来年は日中戦争、太平洋戦争の終結から70年になるが、全ての町民が参加できる平和の記念事業を行う考えは。

答 (町長) 国民の大半が戦争の悲劇を知らずに育つた今、過去の悲惨な歴史を教訓とし、次の世

代に継承していくことが、今に生きる私たちがなすべき使命であると考えており、町では毎年4月に戦没者に敬意と哀悼を祈り追悼式を行ってしている。来年は戦後70年ということで、その趣旨にふさわしい追悼式ができないか検討したい。

憲法、平和教育は国を愛することに通じる積み上げてきた郷土愛が国を愛する気持ちに

問 日本は憲法で平和国家を宣言している。小中学校はその点についてどのように扱っているか。

答 (教育委員長) 改正教育基本法や学校教育法の一部改正で新たに規定された義務教育の目標を踏まえ、指導要領に従い教育課程が立てられ、授業が行われている。平和学習の一環として、小学校では長崎の平和公園を訪れ、平和教育を実施し、中学校は沖繩を訪れ、沖繩戦の話聞き、平和学習を行っている。

今後は地元でも戦争体験を話していただく人がいれば、機会をつくっていきたい。
問 憲法の問題で小中学校では立憲主義についてどう扱っているか。

答 (教育長) 私が、教科書等見る範囲内においては、立憲主義については扱っていないと思う。
問 憲法を正しく理解し、平和を考える上で、平和教育は国を愛するということに通じるものがあると思うが、教育委員会はどのように考えるか。

答 (教育長) 私もそのように思う。家庭を大切に、学校を大切に、郷土を大切に、自分の国を大切に、少しずつ積み上げてきた郷土愛が国を愛する気持ちに伝わると考える。そういう気持ちは、ほかにそういう国を大切にしている人が世界にはいると、そういうところで平和が大切だということを学んでいくものと理解している。



憲法を暮らしに生かそう



長洲町の戦没者は553名(長洲町史より)



新分野進出による雇用機会の拡大を



竹本信次議員

新たな価値を生みだし、雇用の拡大を!!

答 まちの特性を踏まえた雇用・就業の推進を図りたい

問 新たな価値(ブランド)をつくりだすためには革新が必要である。技術向上や研究開発のため、工業、水産、農業等の研究所を設立し、新産業の育成を図るべきでは。

答 (町長) 農水産物のブランドづくりは、漁業者、農業者、漁協、県、町、

既存の研究指導機関等と連携して取り組んでいる。今後も新産業の育成を図るために各関係者と協議・意見の場を設け、新たなブランドづくりに取り組んでいきたい。

問 事業所の新分野進出、ブランド商品販路拡大等の対策を事業化、また空き店舗の

活用や賑わい拠点を創出するための事業等、雇用の拡大と就業を目的に、厚生労働省が支援する町独自の実践型地域雇用創出事業・事業期間3年度以内、各年度2億円が上限)の取組みができないか。

答 (町長) この事業は、自治

体の産業振興策との連携により雇用を創造する事業で、商工会や農協といった町内の関係経済団体の理解が必要である。まちの特性を踏まえた雇用・就業の推進を図る事業構想を練り上げ、事業実施に向け検討したい。

問 駅前南側開発のPFI方式による子育て支援地域優良賃貸住宅の整備計画の進捗状況は。

答 (町長) 昨年度から地域活性化住宅の整備を検討しているが、建築資材や人件費の高騰により当初の事業計画での実施が厳しくなり、PFI方式による事業実施の見直しを図っている。駅前南側は、民間の宅地開発が計画されており、ライフライン等の

ちと、まちの課題や未来を考え、具体的にアイデアをだせる意見交換の場を提供したい。

整備を関係各課と協議し進めている。現在のまちの中心市街地はどこか。

答 (まちづくり課長) 町を開発するには、都市計画の区域マスタープラン等がある。その中で役場を中心とした駅南側を『まちの中心市街地』と捉えている。

まちづくりの根本は人づくり、優秀なリーダーの育成を!!

若者と意見交換の場を創出し、魅力あるまちづくりを目指したい

問 元気でユニークな「まち」には、必ず地元を愛し、活動の鍵を握るキーパーソンたちがいる。町の若者たちと意見交換の場を積極的に展開してはどうか。

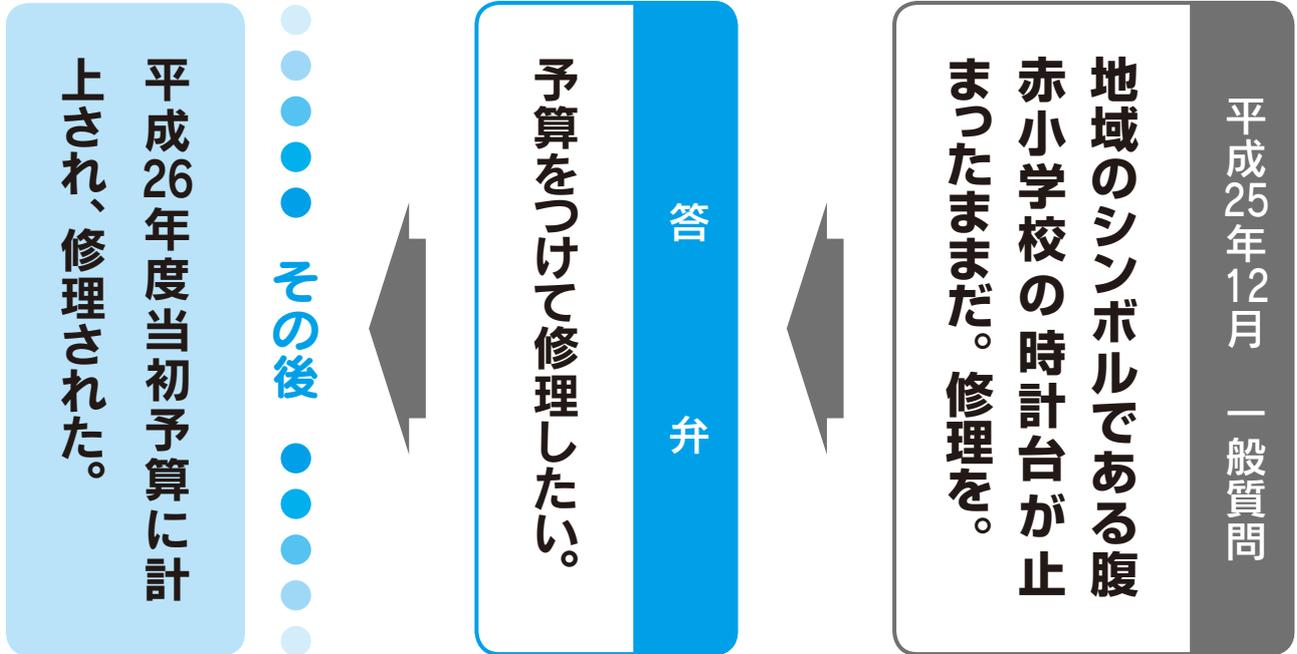
答 (町長) 町には未来を考え積極的に活動している若者が多くいる。町出身の町外で活躍している若者や町に移住し夢を実現させたい若者た

を、まちの課題や未来を考え、具体的にアイデアをだせる意見交換の場を提供したい。



まちの中心市街地ってどこ？

はとがんなつた



反射看板 町内16箇所設置



地域のシンボル元気に復活
(腹赤小)

追跡レポート あん質問

平成21年12月 一般質問

交通事故防止へ向け反射材看板の導入。

答 弁

「反射たすき」や「反射看板」で事故防止に努めたい。

その後

平成26年10月設置された。



国へ意見書提出

年金のさらなる削減の中止を求める
〔内容〕

年金の削減は消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与え、地域経済にも大きな影響を及ぼすことが懸念される。

総務保健福祉常任委員会「採択」(全員賛成)
〔採択の理由〕

この制度のもとだと現在の若い世代の年金が相当減ることになるため、抜本的な年金制度改革が必要だとの意見が出され、全会一致で採択すべきと決定した。

〔本会議〕
「採択」(全員賛成)

国へ意見書を提出しました。

町民のひろば

これからも仲よく

田畑の仕事に明け暮れながらも14～5名の女性で始めた月一度のお茶会(無^{むじんこう}尽講会)は親睦と融和を計りながら続いている。

四季折々の野菜や花の種蒔き、肥料の時期などを教え合ったり、世界情勢の事まで話題は尽きない。民謡で身体を動かせば楽しい時間はアツという間に過ぎる。会員は高齢化し9名となったが日々の暮らしの気分転換の場としてこれからも続けていきたい。



60年続く「二十日会」(腹赤区)

傍聴者の声

住民の安心・安全を守るためにも



インターン大学生

町議会では、様々な問題があったが、その中でも印象に残った内容が2つある。

一つ目に水道水のことである。私は菊池に住んでおり、水道水はとても美味しく、無臭である。長洲町の水は殺菌のために塩素消毒をするということで、自治体によって地下水の有名な熊本でも大きな違いがあることに気付かされた。

次に、道路についてである。長洲町の道路では、道幅が狭かったり、標識が見えにくかったりする箇所があるとのことだった。私たちは内野県議から、「道路が狭いと緊急車両が入れず、災害時に困る。」という話を伺っていた。

住民の安心・安全を守るためにも、早急に整備するべきだと感じた。

ひとこと

青春18きっぷが今年も発売されていますが、使ったことがありますか。

「青春18きっぷ」は、JR全線の普通列車が1日乗り降り自由の切符で、学生が春休み・夏休み・冬休みに入る期間中5回(二人)利用でき、「青春18」とあるが利用に年齢制限はありません。どこ行きたいですか? 誰と行きたいですか? 長洲駅から『ふらり旅』古寺名利こころの百景や歴史ゆかりの地を、おもむくままに訪ねてみては…

広報委員	委員長	徳永 範昭
副委員長	竹本 信次	
委員	福本 みや子	
委員	大森 秀久	
委員	荒木 睦子	
委員	磯野 睦子	
委員	市原 一広	
発行責任者	議長	松井 一也

す。
(竹本)

議会広報委員会では皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆さん傍聴に出てこんね!

次の定例会は

12月15日
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

長洲町議会 情報公開制度

平成13年10月1日にスタートした長洲町情報公開制度は、町民の皆さんの請求に基づいて、議会が保有する情報を公開するものであり、地方分権の時代において、議会の情報をおいて、議会の皆さんと共有し、より一層開かれた議会を目指していこうというものです。

平成25年10月1日から平成26年9月30日までの議会情報公開請求は1件でした。



お詫びと訂正
8月発行の議会だより「潮さい」の8ページに掲載した国旗・町旗の写真が裏面からのものとなっていました。正式には、正面から見て国旗は左、町旗は右となります。お詫びして、左写真のように訂正します。